

# 第3次 京都式 オレンジプラン

第3次 京都認知症総合対策推進計画

概要版



## 京都式オレンジプランとは

「認知症になっても個人の尊厳が尊重され、安心して暮らし続けられる社会を実現したい」当事者や関係団体のそうした願いを込めて、京都地域包括ケア推進機構では「京都式オレンジプラン」を策定しています。

- 第3次京都式オレンジプランの計画期間：2024(令和6)～2029(令和11)年度(6年間)

認知症総合対策推進プロジェクト

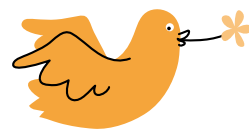
京都地域包括ケア推進機構

認知症の人とその家族が望む

## 10のアイメッセージ

### 京都式オレンジプラン

をかなえる



## オレンジロード

※「アイメッセージ」とは、理想とする社会の姿を、認知症の本人である「私」(= I (アイ)) を主語にした10のメッセージとして表現したものです。

**2** 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。

**3** 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。

**1** 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。

**4** 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。

オレンジロード

# 住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

10 私は、私や家族の願いである認知症を治す様々な研究がされているので、期待をもってすごしている。

8 私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

9 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって参加し、すごしている。

7 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されてすごしている。

6 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がされているので、気兼ねせずすごしている。

5 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんですごしている。

## 認知症高齢者の将来推計

認知症及びMCI（軽度認知障害）の高齢者数は年々増加が見込まれています。

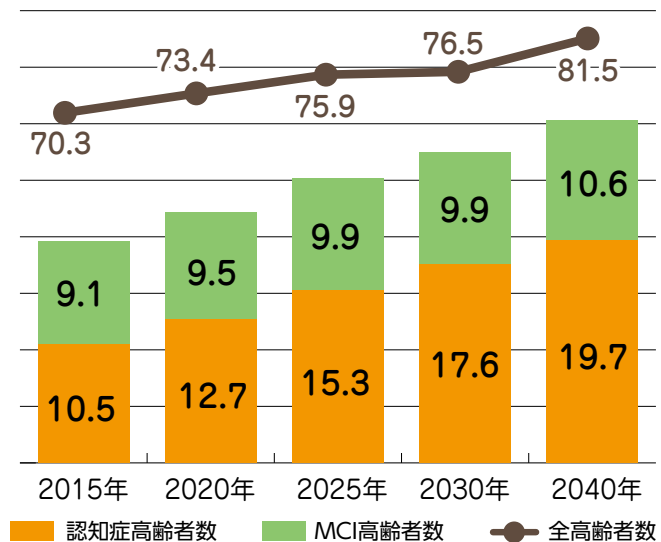
2040（令和22）年には京都府の高齢者81.5万人のうち30.3万人（約37%）が認知機能に何らかの問題を有することになると予想されています。

※MCIのすべての人が認知症になるわけではありません。また、65歳未満の方でも認知症になる場合があります（若年性認知症）。

※上記の推計値は、第3次京都式オレンジプラン策定時にR2年国勢調査と国立社会保障・人口問題研究所の推計（R5推計）に基づき算出。

なお、2024（令和6）年5月に「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（R5老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）九州大学 二宮教授）により認知症高齢者の新たな推計値が公表されています。

京都府の認知症高齢者数の推計（単位：万人）



## 認知症の人や家族の声

第3次プランの策定にあたり、認知症の人やそのご家族から次のような声が寄せられました。

わからない事や忘れる事を自覚しています。不安や気になる事がある時には話を聞いてもらうことで気持ちが落ち着きます。（本人）

早い内に診断を受け、認知症について学ぶ機会を得て、少しずつ客観的に受け止められるようになってきています。（本人）

SOSを出すと、ちゃんと認知症初期集中支援チームの人も来てくれるし、若年性認知症支援コーディネーターも動いてくれるし本当に助かります。（家族）

私自身は認知症はそんなに怖くありません。歳ですからね。認知症になって当然だよ。（本人）

参加した認知症カフェに地域包括支援センターの方がいて、介護保険の手続きなどを手伝ってくれたのでとても助かりました。（家族）

診断当初は先が見えない不安しかなかったけど、いろいろな制度や支援を受けて、就労にもつながり経済的にも不安が解消し、将来についても希望がもてるようになりました。（本人）

## 🍊 施策の展開

第3次プランでは、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」(令和6年1月施行)で定める基本的施策の内容や「10のアイメッセージ」の達成状況の評価、本人・家族ミーティング等で寄せられた声などを踏まえ、今後推進していく方策をまとめています。

共通  
方策

### 共生社会の実現を推進するための考え方 10のアイメッセージによる 当事者視点の重視

#### 1 認知症本人の活動について

- すべての人が認知症を正しく理解し、適切に対応できる環境づくりを進めます
- 認知症の人による発信の機会を広げ、認知症の人とともに取組を推進します
- 認知症の人の居場所づくりを進めるとともに、本人の希望や状態に応じた就労、社会参加等を支援します
- 若年性認知症の人と家族が安心して相談し、必要な支援が受けられるための施策を充実します

#### 2 認知症の本人・家族を支える地域の 支援体制について

- 認知症の早期発見・早期鑑別診断・早期対応のできる体制を地域で構築します。また、症状の初期の段階に集中的な支援を実施します
- 地域のネットワークづくり・認知症バリアフリーのまちづくりを推進します
- 認知症の人を支える家族の負担を軽減するための支援の充実、認知症に対する正しい理解の促進や対応力の向上を図ります
- 関係機関との連携により、認知症の人の権利擁護の取組を強化します

#### 3 医療・介護の提供体制について

- 環境や状態の変化等があってもとぎれずに、適時・適切な医療や介護サービスが受けられる体制を整備します
- 地域における医療資源の格差を是正する取組を推進します
- 人生の最終段階にあっても、認知症の人の意思と尊厳が尊重され、最期まで自分らしい暮らしを送ることができる環境づくりを進めます

個別  
方策

詳しい内容は、第3次プラン(冊子版)をご覧ください。  
冊子版のデジタルデータを「京都認知症あんしんナビ」に掲載しています。

▶ [https://www.kyoto-ninchisho.org/?page\\_id=444](https://www.kyoto-ninchisho.org/?page_id=444)



## 考えてみよう！ 動きだそう！

認知症基本法では、「国民は、(中略) 認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深めるとともに、共生社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」とされ、認知症を自分事として捉えていくことが求められています。

自分や周りの人が認知症になった時、あなたはどのようなことをしますか。

例：認知症の方に対して、あなたはどんなことができるでしょうか？

あなたが認知症になったら、どんな11番目のアイメッセージが考えられますか？

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



大使のプロフィールや  
活動依頼などの詳細はこちら  
(京都府ホームページ)



京都府認知症応援大使 (R6.12.13「京都府認知症応援大使 委嘱式」より)

京都府では、府民の認知症への関心・正しい理解を深める啓発活動に、認知症の方ご本人の声を発信することでご協力いただくため「京都府認知症応援大使」を委嘱しています。(R6.12現在9名)

## 🍊 認知症等の相談窓口

### ・認知症かもしれないと思ったら

ご自身や周りの方に気になることがあれば、こちらにご相談ください。

#### ■ 地域包括支援センター

市町村が運営する、医療・介護・福祉等の様々な面から高齢者の生活をサポートする地域拠点（所在地や担当区域、電話番号等は「きょうと認知症あんしんナビ」に掲載中）



▶ [https://www.kyoto-ninchisho.org/?page\\_id=150](https://www.kyoto-ninchisho.org/?page_id=150)

#### ■ 認知症初期集中支援チーム

市町村が設置する、医療保健福祉の専門職・専門医等からなる認知症の専門チーム（問い合わせ窓口等は「きょうと認知症あんしんナビ」に掲載中）



▶ [https://www.kyoto-ninchisho.org/?page\\_id=1818](https://www.kyoto-ninchisho.org/?page_id=1818)

### ・認知症に関する電話相談

認知症について、日頃から気になっていることありませんか？ 相談員がお聞きします。

#### ■ 京都府認知症コールセンター（認知症全般のご相談）

TEL：0120-294-677（フリーダイヤル）

（月曜日～金曜日 10：00～15：00／土日、祝日、お盆、年末年始除く）

#### ■ 京都府若年性認知症コールセンター（若年性認知症のご相談）

TEL：0120-134-807（フリーダイヤル）

（月曜日～金曜日 10：00～15：00／土日、祝日、お盆、年末年始除く）



京都府認知症応援大使（最前列左から4名）とそのご家族、支援者（R6.3.10開催 第3次京都式オレンジプランキックオフイベント「共生社会の実現に向けたきょうと認知症まちづくりフォーラム」より）

プランに関するお問い合わせ先

### 京都地域包括ケア推進機構

〒604-8418 京都府京都市中京区西ノ京東柵尾町6番地 京都府医師会館703  
TEL 075-822-3562(代表) FAX 075-822-3574  
E-mail info@kyoto-houkatucare.org  
<http://www.kyoto-houkatucare.org/>



認知症に関する様々な情報は  
「きょうと認知症あんしんナビ」へアクセス

<https://www.kyoto-ninchisho.org/>

※プランに関するご意見等はこちらのお問い合わせフォームから。



#### 〈京都地域包括ケア推進機構〉

高齢者の方が介護や療養が必要になっても、住み慣れた地域で365日安心して暮らせる「京都式包括ケアシステム」を実現するため、医療・介護・福祉・大学等のあらゆる関係団体が集結してオール京都体制で2011年6月に設立しました。